

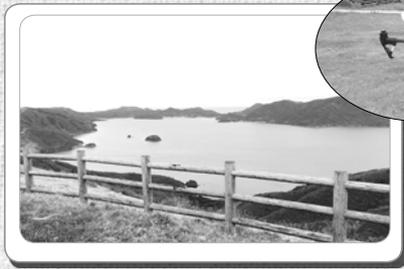
ユネスコ正式事業化決定！

11月17日（日本時間）、フランスのユネスコ本部で開催された総会で、世界ジオパークの活動が、ユネスコの正式事業となりました。日本では、洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島、山陰海岸、室戸、**隠岐**、阿蘇、アポイ岳の8地域が世界ジオパークに認定されています。

正式事業化が決定したことで、世界ジオパークの活動が、国際的に知名度のあるユネスコのお墨付きの事業となり、国内はもとより世界中の人々からの注目が高まると考えられます。

その一方で、ユネスコの「世界平和の実現」の目的に沿った活動、つまり教育、科学、文化を通じて人種・性・言語及び宗教の差別をなくす活動も求められます。

隠岐でも今後はそのような活動に沿って、取り組みを行っていかねばなりません。まずは住民の皆さんも隠岐についての関心を深めていただき、1人1人が隠岐を語れるようになることを目指してみませんか？その機会のひとつとして、各地区でのジオ講座を開催していますので、是非参加してください。



隠岐4島をドローンで空撮したプロモーションビデオを作成しています。来年から本協議会のHPや島内の様々な場所で見られるようになります。

ジオパーク的な西ノ島の楽しみ方

隠岐世界ジオパーク推進協議会

E-mail info@oki-geopark.jp

Tel 08512-2-9636 Fax 08512-2-9626



ご芳志

西ノ島町社会福祉協議会へ次の方々からご寄付をいただきました。謹んで厚くお礼申し上げます。

香典返しとして

金一封 島崎 進 様 浦 郷
金一封 小新 秀雄 様 宇 賀
金一封 安達アサ子 様 船 越

一般寄付として

金一封 齋藤 幸子 様 東京都

戸籍の窓

（平成27年10月届出分）

（敬称略）

おくやみ

大野 永利 81歳 別府	島崎 美智子 81歳 浦郷	眞野 ミドリ 91歳 浦郷	安達 一樹 61歳 船越	板脇 好男 100歳 大山	小新 善太郎 95歳 宇賀
--------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------

すこやかに

岩佐 拓海

（拓哉 旭代）

美田尻

根本 美織

（俊秀 幸絵）

浦郷

おしあわせに

（村井 邦明 徳島 真由子）

（海士町 別府）

「ふるさと西ノ島基金わがごとく」
ご寄付を頂きました。

寄付者：1, 893名

平成27年度分 寄付金総額

三二、七〇五、五〇〇円

（平成27年10月末現在）

ありがとうございました。

財政課

にしのしまマイバッグキャンペーン実施中！

マイバッグを持つことは、ごみの削減や、それに伴う二酸化炭素などの温室効果ガスの削減、レジ袋の原料となる原油の節約（資源保護）へとつながります。

10月末現在、のべ243,200枚のレジ袋が節約されました。皆様のご協力をお願いいたします。

西ノ島町地球温暖化対策地域協議会

SHIBATA

西ノ島見聞録



こんにちは！
地域おこし協力隊の柴田です。

ぼくが柴田です！



こんにちは。すっかり寒くなりお鍋が美味しい季節になりました。

まだ暑さが残っていた9月から観光協会が運営しているガイドクラブ、ふるさと案内人のメンバーに入りました。メンバーになってから西ノ島について勉強をしました。もともと勉強は得意なほうではないのでなかなか大変です。というのも、世界ジオパーク、島前カルデラ、後醍醐天皇、神社、畜産、漁業など頭に入ることがたくさんあります。

大変ですが、

西ノ島が好きなのに西ノ島について知らないのはもったいない”

西ノ島の良いところを景色しか説明できないのはもったいない”
大阪人のもったいない精神が出てきました。



勉強していくと西ノ島に伝わる伝説をみつめました。そのエピソードが面白くて日本昔話をみているようです。西ノ島町観光協会のHPにも乗っているの興味がある方は一度ご覧ください。もちろん柴田に聞いて頂いても大丈夫です。

ある程度覚えてからは先輩のバスガイドに同行して、ガイドの様子を見学させてもらいました。見学の中で少しだけガイドを変わってもらいガイドをしたのですが、少ない時間でも頭で練り返していたはずの言葉が、マイクを持った瞬間に真っ白になり改めてガイドの難しさを感じました。ガイドをなるとか終ると「今度は兄ちゃんが一人で堂々とガイドしてるのを見にくからな。」がんばってね。よかったよ。」と温かい言葉をかけてくれてガイドって楽しいと思いました。

月日が流れ、10月28日(水)10:00~12:00 参加者20名のツアーでついに一人でのガイドデビューをしました。柴田は緊張でどんよりしていました。天候は快晴で絶好の観光日和です。



自己紹介の時に「実は今日が初めてなんです。」そう伝えるとお客様から拍手がおこり良い空気が出来ました。詰まる所も何度もありましたが、温かく話を聞いてくれました。各スポットから見る絶景に皆様すごく感動しておられ、こっちまで嬉しく思いました。無事終了しバスから降りると優しい言葉をたくさんかけてくれて一安心。柴田の表情も快晴になりました。ながながと大袈裟に書きましたがまだデビューしただけなのでこれから場数をこなして西ノ島の良さを多く伝えていけるようなガイドを目指して頑張ります。

西ノ島日記

スズキ



福島県西会津町でのアートワーク



東京都島飾区でのアートワーク



静岡県千頭地区でのアートワーク



半農半芸ライフ

地域おこし協力隊の鈴木です。私は、静岡県浜松市のミカン農家に生まれました。デザイン・アートを学び、半農半芸といううちよつと変わったライフスタイルで各地を転々としてきました。西ノ島に来た理由のひとつは、最先端の町だと思っただけです。

私が今思う「最先端」は、高性能な機器や流行のお洒落な服ではありません。今年の3月、私は地元浜松のカフェでノートパソコンの前に座ってコーヒー片手にインターネットをしていました。そこへ先輩からメッセージが、「先輩が好きそうな島があるよ、名前はニシノシマ。」すぐさま、パソコンで調べると、日本各地のニシノシマが出てきました。「年々、巨大化してる島？」先輩に聞くと、「違う違う、後醍醐天皇、隠岐、ニシノシマの言葉で検索してみて。」

隠岐諸島は地域振興でメディアに度々登場していたので知ってはいました。しかし、お恥ずかしい話なのですが、私は西ノ島を知りませんでした。PCの窓から西ノ島を調べると興味深い情報を得ることができました。西ノ島は、古くから牧畑が行われ今でもその農法は形を変えて残り、公営放牧が行われている。

なんて、興味深い島なんだ。自然体系を利用した循環型農業をやっている。海も山も混在している地形。どんな暮らしや住まい方がそこにはあるのだろう。

そしてさまざまな縁が重なり、6月から地域おこし協力隊としてこの島に住むことになりました。

私が西ノ島に来て一番感激したのは、島の主婦の方々の暮らしでした。

西ノ島の山や海で、自ら採ってきた食材を自分で調理して、家族や近所の方に振舞う。これは一見簡単なようで、手間隙がかりますし、誰にでもできることではありません。

西ノ島の方々は、誰かに食べて欲しい、喜んで欲しいというおもてなしの精神が遺伝子に組み込まれているのでしょうか。それを当たり前にやっています。

想像を超えた最先端の島でした。自然と文化と歴史が生活に直結しています。しかし、島の方々にとってその暮らしや住まい方は日常であり、当たり前前の事柄です。その振る舞いもまた、かっこいいと感じています。

私は、西ノ島は、日本有数の超創造的で最先端の町だと思っています。